

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 木と共生する美しい街並みの家

グループの名称 加賀伝統の家を考える会

直近採択グループ番号 04-0386-0344

(グループ代表者)

代表者名 山田 外志雄 代表者印
代表者所属先 宏州建設株式会社
代表者所在地 石川県金沢市駅西本町1丁目3番15号
代表者電話番号 076-263-5355

(グループ事務局)

事務局事業者名 南陽株式会社 金沢店
事務局担当者名 本田 哲也 印
事務局郵便番号 920-0061
事務局所在地 石川県金沢市問屋町3-3
事務局電話番号 076-237-7700
事務局FAX 076-237-7704
事務局担当者E-mail kaga-green@nanyo.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		30	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	30	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	10	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		30	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	30	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	10	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		20	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	20	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	6	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		20	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	20	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	6	戸					
高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		20	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	20	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	6	戸						
	申請が未確定(上限100万円)		20	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	20	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	6	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		10	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		10	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	2棟							
			300㎡							
		申請が未確定	2棟							
			300㎡							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	期間を定め参加を希望する工務店に一戸を配分し、その上で予定戸数がうまらない場合申請順に配分する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	13	戸	交付申請戸数	12	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	12	戸
	補正予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	1	棟	交付申請戸数	1	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	1	戸	
当初予算	採択床面積	101	㎡	交付申請床面積	101	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	101	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木と共生する美しい街並みの家	(地域型住宅供給対象地域) 石川県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 加賀伝統の家を考える会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0386-0344	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	冬は積雪があり、夏は高温多湿のため、雪や湿気に強い住宅を目指す。 ①湿気を排除するために外壁は、通気工法とする。 ②夏の暑さをやわらげ、住宅の快適性・耐久性を向上させるため、透湿・防水・遮熱シートを使用する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	二世帯・三世帯が長く住める、部屋の温度差をなくした断熱強化型の家 二世帯・三世帯同居や共働き世帯が快適に住める可変性に優れた設計。また、高齢者にやさしい、各部屋の温度差をなくした断熱強化型住宅。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	加賀の環境や街並みを大切にデザインに努める。 断熱性能を高め、日射取得をコントロールしたパッシブデザイン住宅を目指す。 躯体や軒、庇などは季節に応じて機能・性能を高めることができないので、地域の気象と立地条件などをしっかり把握し、地域の気象、風土等に根ざしたデザインを行う。	○
④①～③の背景	石川県は加賀百万石の雅な城下町であり、北陸商圏の中心都市として発展してきた。また世界農業遺産「能登の里山里海」に選ばれるなど、環境や街並みを大切にしている。冬は積雪があり、夏は高温多湿(年間降水量全国3位、降雪量全国7位)	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	湿気を有効に排出するために外壁を通気工法とする。 ※ただし優良建築物型は除外する。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「構造の安定」 通し柱は、4寸以上とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「省施工化及び環境負荷軽減」 外壁材を窯業系サイディング材にする場合はプレカット加工とする。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「省エネ基準対応バックの作成」 グループ会員ごとに長期優良住宅またはゼロエネ住宅を達成する、住設・建材リストを作成、提案する。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「建材・資材調達コストの削減」 グループ内で共通の資材を使用することで木材以外の建材・住設流通業者が同一製品を大口契約し、資材・流通のコストの削減を図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「調達事務の合理化と商材の標準化」 事務局が中心となり、施工、プレカット、設計、流通業者や各商品メーカーとグループの仕様合理化を行い、商材の標準化を図る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 生産合理化に向けた役員会や委員会活動(年2回)	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心に商品開発会議を行い、省エネ商品・木質商品の企画検討し、常に改良を行い合理化を図る。また、常に新情報をリサーチし、各種情報の水平展開や研修会・勉強会の企画・運営を行う。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: すまい手に工事内容や見積り内容をわかりやすく説明し「見える化」を行う。 施工品質を高めるために、フラット35住宅工事仕様に基づいた施工を行う。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: フラット35の仕様基準を参考に施工業者が自社の施工・品質基準の作成に取組み、チェックシートを基に自主検査を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 専門知識のない、すまい手にも分かりやすい仕様や工事内容について詳細に説明し、見積り価格一式提示をやる。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: すまい手が価格や工事内容について分かりやすい説明を受けた事を示す「確認書」をかわす。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施工中の事故やトラブルを防ぐため、工事保険に加入し、方が一の時に備える。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木と共生する美しい街並みの家	(地域型住宅供給対象地域) 石川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 加賀伝統の家を考える会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0386-0344	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間の維持保全計画書の提出と指定図書書の提出。 (※優良建築物型は除外する)	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者の住宅履歴サービス機関へデータを蓄積。 (※優良建築物型は除外する)	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報ID等の事務局への提出。 (※優良建築物型は除外する)	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共有する維持管理保全計画書(1年・3年・5年10年・15年・20年・30年)を標準化。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 既存住宅状況調査技術者が診断し、メンテナンス、リフォームを行う。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンス・リフォーム情報を第三者の住宅履歴サービス機関へデータを蓄積、履歴情報ID等の事務局への提出	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの管理勉強会の実施 (年1回)	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: DIY体験会等の実施 (年1回)	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ファイナンシャル相談会等の実施 (年1回)	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会等の活動 (年3回)	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅支援機構の維持管理方法を参考に維持管理委員会等で検討し、標準化を図る。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の倒産廃業時のため、設計図書等を揃えてグループ事務局へ提出する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 雨漏り対策ハンドブックを参考に雨漏り対策の勉強会を行う。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店のために長期優良住宅やゼロエネルギー住宅の研修会を開催。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅金融支援機構のフラット35の木造住宅工事仕様書を基準に品質確認を行う。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術基準適合仕様確認書の事務局への提出。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ・三世代同居型住宅の取組を今年度10棟以上行う。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 三世代同居における設計プラン勉強会を行う。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 三世代同居における設計プランの事前相談を事務局で受け付ける。	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 40 今年度の参加目標人数 10	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 10	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局への省エネルギー技術者講習会受講の報告(修了番号の報告)	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 夏の暑さをやわらげ、住宅の快適性・耐久性を向上させるため、透湿・防水・遮熱シートを使用する。	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地中熱利用において、開発メーカーと協力し実証実験に向けた準備を行う。	○
その他	耐力面材と断熱材をセットしたパネル工法を活用することで、一定の品質による断熱材の施工を行い、高気密・高耐震化を進める。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木と共生する美しい街並みの家	(地域型住宅供給対象地域) 石川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 加賀伝統の家を考える会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0386-0344	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	地域材利用に関する ① 共通ルール(必須) ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	主要構造材(柱・梁・桁・土台)については合法木材またはPEFCを70%以上使用する。 ※a①②③④優良建築物型は除外する。 □ 50%未満 ■ 50%以上 □ 80%以上 土台: □ 使用していない ■ 使用している 主要構造材 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している 【地域材供給ルートの例外】 ・施行事業者の一部で全て手刻み加工を行う為、ⅢやⅣを経由しない場合がある。 ・その他地域材の供給ルートには様々なバリエーションがあり一部の業種を経由しない場合がある。 ・原木供給業者・製材供給事業者が海外であるため、本申請において必要とされる本社の念書の入手が不可能であったため原木供給業者・製材供給事業者の登録を行っていない。該当事業者の原木・製材出荷が適合していることを以下にて示す。 (1)以下に該当する認証制度に基づく証明書の添付。PEFC森林認証制度・森林経営の持続性や環境保全への配慮などについて民間の第三者機関により認証された森林から産出される木材・木材製品 (2)原木の産出国がわかる書類のひな形の添付(商社や製材工場等が発行する納品書) (3)林野庁作成の「木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明のためのガイドライン」(平成18年2月)に基づき合法性が証明される木材・木材製品 【地域材の流れ(一般)】
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 ①-2 地域材価格の共有の仕組 ② グループ全体における地域材の需給予測	□ ない ■ ある → 内容: 事務局が中心になり地域材の在庫量を把握し、メールにて発信する。 □ ない ■ ある → 内容: 事務局が中心になり地域材の価格情報を把握し、メールにて発信する。 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 主要構造材の70%に地域材を使用 1戸あたり、10m3相当の地域材を使用予定
c	①-1 畳の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 400枚 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 15900枚 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 30枚 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 30枚 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 「小松瓦」使用を推奨 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 北陸地域は古くからスギ材を建築材料に活用する文化があり、内装材にスギ材を用いて伝統的な意匠の活用を推奨する。
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 ② 地域の住まい方の継承につながる取組 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 ④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 景観条例や地区計画で住宅において規制がある地域ではガイドラインに沿った設計をする。 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 三世同居可能住宅の推奨 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 街並みに配慮した外構計画とするため、シンボルツリー1本以上の植栽を行なう。 ※優良建築物型は除外する □ 行っていない ■ 行っている → 内容: 外装仕上げにスギ材をもちいて、趣のある和の佇まいや、空間デザインの要素を取入れる
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		新建材により、無機質になりがちな住宅の表情に木のぬくもりを与えるため、住宅の仕上げ材の一部に「北陸優良スギ材」の使用を推奨
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	福島県産材を積極的に使用する取組を行う。協和木材株式会社(日本農林規格 JAS認定工場)の供給する合法木材供給認定の八溝杉材を構造材や下地材・仕上げ材にできるかぎり使用する。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	復興支援として九州エリアの杉材・ひのき材等の使用をグループとして推奨する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木と共生する美しい街並みの家	(地域型住宅供給対象地域) 石川県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 加賀伝統の家を考える会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0386-0344	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅共通】

①外壁・床・天井などの住宅外皮と開口部の断熱を高め、開口部に関してはバランスのとれた日射遮蔽(夏)と日射取得性能(冬)を確保した計画とすること。
②暖冷房・給湯・照明・換気等の設備機器の高効率化を図り、その住宅で必要とする負荷に応じた適切な容量の設備機器を選択すること。

【ゼロ・エネルギー住宅】

BELS評価機関の評価書の活用(必須)

【優良建築物型】

モデル的プロジェクトとしての取組

低炭素社会に向けた木造建築物を実現するため、省エネルギーやCO2排出削減という課題の重要性を理解し、自ら率先して先導的なまちづくりに取り組む。